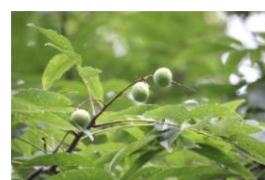


薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2021年
9月6日
第121号

クコ（ナス科）

第三圃場横、山崎川沿いのフェンス近くで、しなやかにしなったように伸びた枝の所々に上品な薄紫色の小さな花が咲き始めました。本州、四国、九州の日当たりの良い山野に自生する落葉低高木です。クコの名は漢名の枸杞に由来します。果実、葉、根皮から、それぞれ枸杞子（クコシ、枸杞葉（クコヨウ）、地骨皮（ジコ皮皮）という生薬になります。クコシは滋陰薬として杞菊地黄丸などに配合されたり、杏仁豆腐や中華粥の食材、あるいは果実酒として滋養強壮に用いられます。ジコ皮皮は清熱薬として清心蓮子飲や滋陰至宝湯などに配合されます。クコヨウは中医学での薬能はクコシと同じですが、もっぱら茶剤として利用されます。かつては住宅地の道端等でもよく見られましたが、以前「万病に効く」との噂から盛んに採取されたからか、見かけることは少なくなりました。

ムクロジ（ムクロジ科）

温室横、西薬木区で、膨らみ始めた若い実が見られます。新潟、茨城県以西の本州、四国、九州に分布する落葉高木です。古くから「魔除け」の力があると伝えられ、古いお寺には大木も見られます。種子を数珠や羽根つきの球にするのはよく知られていますね！日本では果皮が延命皮（エンメイヒ）という生薬となり、民間薬として去痰を目的に使われていました。『本草綱目』には無患子の名で収載され、喉のしびれに対する利用法のほか、洗面、洗髪への利用法が記載され、実際にサポニンを多く含み、日本でも洗剤として利用していました。中医学では、果皮が無患子皮（wúhuànǐpí）、根が無患樹莖（wúhuànshùqiáng）という生薬となり、それぞれ清熱化痰、宣肺止咳を目的に使用されるようです。